東中学校区小中一貫教育の目指すゴールプラン

家族を 郷土を 愛し 志を立て 凜として 生きてゆく
吉川市教育大綱

具現化

自分を大切にし
郷土を愛し 自らなりたい
自分になるために 他者と協働し
あきらめずに希求し 学び続ける人

自分の良さや可能性に気づき、夢や目標の実現に向けて意欲的に取り組むことができる人

解決した課題から、更に課題を発見、追求し生活に生かすことのできる人

他人の考えや痛みがわかり、協働して物事に
あたることのできる人

P B L ・ 探 究 的 な 学 び

個別最適な学び(学習の個性化、指導の個別化)

- 食育を通じた自己効力感の向上
- 小中一貫ガイドの作成 効果的な ICT 活用
- 生活ノートの実施
- 講演会の実施
- 9か年の目指す児童・生徒像の設定

キャリア教育(生活・総合)

学力向上(算数・数学)

非認知能力 + α (非認知能力)

- 職員相互授業参観の実施
- カワイイ授業見学会
- ノートの書き方の整理(算数)
- 県学テ分析
- 中学校での体験授業の実施
- 学習内容系統表の作成
①総合的な学習の時間
②算数・数学

・系統表の見直し
・他教科の作成

全教科
完成

生徒会と児童会の
共同行事の企画

生徒会と児童会の
共同行事の実施

福祉教育の充実
企業オンライン説明会

アンケート結果の
分析・共有

単元計画の共有

豊富な
自然体験活動

自然・家庭・地域の体験活動

自治会・学校応援
団・PTAによる支
援活動

小学校への出前
挨拶運動の実施

協働的な学び

他者・自然と共に生きる

令和十年

令和九年

令和八年

令和七年

令和六年

令和五年

- 自分で考え、自己で決定して主体的に動くことができる。
- 自ら問いを立て、探究していくことができる。
- 自他を認め、課題解決に向かって最後までやり抜くことができる。

- 自分と他者の意見を比較し、その上で、自分の考えを表現することができる。
- 課題解決した経験を他の活動に活かすことができる。
- 問題や課題について「自分ごと」として捉え、活動することができる。

- 自分を見つめなおし、よりよくするために活動することができる。
- 自己で課題を発見し、その解決に向けて取り組むことができる。
- 身の回りの郷土や自然について興味を持ち、自分の生活と結びつけることができる。

- 友達や教師に自分の意見や考えを伝えることができる。
- 身に付けた知識や技能を活かし、新たな課題の解決に取り組むことができる。
- 相手の立場に立ったものの考え方ができる。

- 自分や友達のよいところを見つけ、認めることができる。
- 課題に向かって見通しを持って活動に取り組むことができる。
- 他者と協働し、課題解決にあたることができる。

自己肯定感
の高揚

埼玉県学力・学習状況調査(生徒質問紙)の関係項目の評価を毎年0.1ポイント向上させる。

【関係項目】

- ①非認知能力
  - ・自己効力感
  - ・勤勉性
  - ・やり抜く力
  - ・自制心
  - ・向社会性
- ②学習方略
  - ・柔軟的方略
  - ・プランニング方略
  - ・作業方略
  - ・努力調整方略

【現状】(県平均)

中1	3.7	(3.6)
中2	3.5	(3.4)
中3	3.4	(3.4)
小4	3.4	(3.5)
小5	3.2	(3.5)
小6	3.8	(3.6)

学力向上

埼玉県学力・学習状況調査(生徒質問紙)の関係項目の評価を毎年0.1ポイント向上させる。

【関係項目】

- ①学習方略
  - ・柔軟的方略
  - ・プランニング方略
  - ・作業方略
  - ・認知的方略
  - ・努力調整方略
- ②非認知能力
  - ・自制心
  - ・勤勉性
  - ・やり抜く力

【現状】(県平均)

中1	3.8	(3.8)
中2	3.6	(3.5)
中3	3.5	(3.5)
小4	3.4	(3.6)
小5	3.4	(3.6)
小6	4.0	(3.7)

非認知能力
の向上

埼玉県学力・学習状況調査(生徒質問紙)の関係項目の評価を毎年0.1ポイント向上させる。

【関係項目】①非認知能力 ②主体的・対話的で深い学びの実施

【現状】(県平均) 中1 3.5 (3.5) 4.2 中2 3.1 (3.1) 4.0 中3 2.9 (3.0) 3.7 小4 3.2 (3.3) 3.9 小5 3.0 (3.2) 3.9 小6 3.7 (3.6) 4.1

卒業

充実発展期

習熟・つなぎめ期

基礎基本習得・定着期

入学

第3ステージ(中3、中2)

第2ステージ(中1、小5)

第1ステージ(小4、小1)

9才のかべ